

サステナビリティの学びと実践 荘銀かねやま絆の森



2010年から、山形県・金山町・地元林業者の三英クラフトと連携し、「荘銀かねやま絆の森」を拠点に森づくり活動を行っています。

植樹や育林作業を通じて森林保全への理解を深めるとともに、再生可能エネルギーに係る勉強会やSDGsワークショップ、まちづくりをテーマにしたフィールドワークなどを実施。森づくりを起点に、持続可能な地域社会の実現に向けた学びと実践の場としてさまざまな企画を展開しています。



育林作業(下刈り)



森林保全と地球温暖化に係る講演

豊かで潤いのある地域社会を目指して 公益信託荘内銀行ふるさと創造基金

山形県内の学校教育・社会教育・文化的活動に取り組む団体に対し助成金を贈呈しています。子どもの健全育成や自然環境の保全、伝統文化の継承など、幅広い分野の活動をサポートし、地域の課題解決に寄与。また、交流や情報交換の機会を設けるなど、助成団体のさらなるネットワーク拡大にも貢献しています。



助成団体同士の交流会

募集時期や申請方法など
詳細は当基金ホームページを
ご確認ください。



荘内銀行ふるさと創造基金 地域貢献大賞

これまでの助成団体から、活動内容を発展させながら、継続的に取り組んでいる団体に贈呈しています。

庄内自然博物館構想推進協議会(鶴岡市)

県内唯一のラムサール条約登録湿地である大山上池・下池やその周辺に位置する都沢湿地、高館山などを自然学習のフィールドに「まもる(保全)」、「学ぶ(教育)」、「つかう(利活用)」の3つの視点から活動を展開。環境保全活動に加え、子どもたちを対象とした観察会や学習会を多数企画し、湿地の生態系を通して生物多様性を守ることの重要性を考える機会を提供。地域全体で自然資源を活かしたまちづくりを進める体制の構築につながっています。



湿地での体験学習



助成金で設置した案内板

特定非営利活動法人 きらりまめ・豆ネット(酒田市)

美化活動や農業、子育て支援、高齢者福祉などを担う4つの地域ボランティア組織が、多様な活動を行っていくため連携し法人化。認知症予防や地域交流を目的とした体操体験、通学路や農道の清掃活動、除雪ボランティアなど活動は多岐にわたっており、中でも子育て支援、高齢者支援の一環として布絵芝居や人形劇を行う「そんとき一座」の活動は、地域内の保育施設や介護福祉施設での公演が話題となり、地域外からの要請が多数寄せられ活動地域を拡大しています。



「そんとき一座」の公演



通学路の清掃(除草)

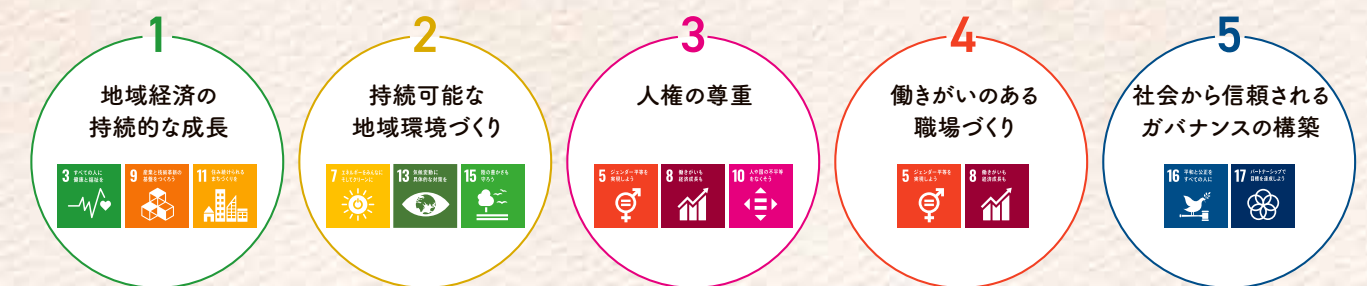
フィデアグループサステナビリティ方針

5つのマテリアリティ(重要課題)への取り組みを通じて、地域社会・経済の持続的な発展に貢献するとともに、当グループの企業価値向上を目指します。



フィデアホールディングスホームページに、各マテリアリティの具体的な内容やサステナビリティ方針に基づく各種方針を掲載しています。

5つのマテリアリティ(重要課題)



フィデアグループSDGs宣言

●フィデアグループは国連が採択したSDGs(持続可能な開発目標)の趣旨に賛同し、地域課題の解決に向けた取り組みを通じて、地域社会の持続的な発展を目指します。

●フィデアグループの役職員全員が、情熱と知恵と挑戦で、「東北を幸せと希望の産地にする」という経営理念を主体的に実践し、SDGsの達成に取り組みます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

「魅力ある庄内地域づくりに関する連携協定」の締結

庄内銀行、山形大学農学部、東北公益文科大学、鶴岡工業高等専門学校の4者は、若者が定住したいと思える「魅力ある庄内地域づくり」に関する連携協定を締結しました。それぞれが有する強みや資源を活かしながら、地域社会の課題解決に取り組むとともに、多様性と包摂性のある持続可能な社会の実現のため、協力して行動していきます。



金融経済教育の実施

金融に関する正しい知識や判断力の向上を目的として、出張講座やセミナーなどを実施しているほか、子どもたちに働くことの意義や地域社会での金融機関の役割について理解を深めてもらうことを目的に職場体験・見学の受け入れを行っています。



次世代経営人材の育成支援

お取引先企業の後継者や若手経営者などを対象に、事業戦略や人材育成など経営に必要な知識・ノウハウの習得や人的ネットワーク構築を目的とした「次世代経営塾」を2018年から開講。今年度は5期生を迎え、実習やグループ討議などを通して経営感覚の向上をサポートしています。今後も、地域の次代をけん引する人材の育成に貢献してまいります。



気候変動への対応

再生可能エネルギー事業のご支援や自治体等と協働しての脱炭素化のご支援など、地球温暖化や気候変動への対応を積極的に進め、持続可能な地域社会の実現に主体的に貢献してまいります。

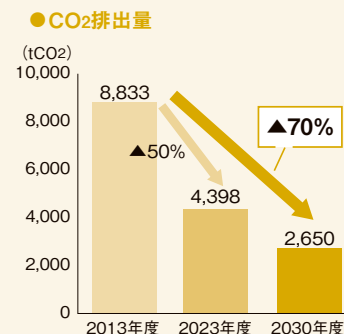
グループの目標と指標

(1) サステナブルファイナンス 実行目標

2021年から2030年まで10年間の累計実行額目標 4,000億円
(うち、環境分野2,000億円)

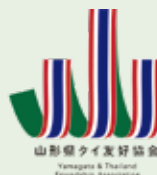
(2) CO₂排出量削減目標

2030年度までに2013年度比△70%



タイとの経済・交流活性化を支援

当行が事務局を務める「山形県タイ友好協会」は、山形新聞・山形放送8大事業との共催で2023年11月に第2回訪タイミッションを実施しました。また、2024年6月には新たに在日タイ王国大使館特命全権大使として着任されたウィッチュ・ウェチャーチーク閣下をお招きした総会・交流会を開催し、会員の皆さまと交流を深めました。



荘銀SDGs私募債

地域におけるSDGsの取組促進を目的とした寄付型私募債「荘銀SDGs私募債」を取り扱っています。発行する企業から当行が受け取る手数料の一部を、SDGsの達成に資する活動に取り組む教育機関や地方公共団体、NPOなどに寄付・寄贈を行う私募債です。

人権の尊重

フィデアグループは、あらゆる人権侵害行為の根絶を目指す「人権方針」を策定。従業員一人ひとりが人権問題に関する正しい認識と理解を深めるため、人権啓発研修などを実施しています。



交通安全横断旗の寄贈

交通事故のない安心・安全な地域社会の実現を願い、1968年から山形県交通安全協会に横断旗を寄贈しています。これまでに約58万本を贈り、児童や高齢者の交通事故防止に役立てられています。



働きやすさ向上

企業内保育施設の設置など仕事と育児を両立できる環境を整備し、育児休業取得率は男女ともに100%※。服装自由化、副業・兼業制度を導入しているほか、行内外での研修やOJTの拡充などにより従業員の成長を後押しする風土の醸成を図っています。働きがい、働きやすさの向上に取り組む、多様な人材が活躍できる職場環境づくりを追求しています。※2024年3月末時点



荘銀SDGs ふるさとの未来のために

環境省 東北地方環境事務所と 脱炭素社会実現に向けて協働

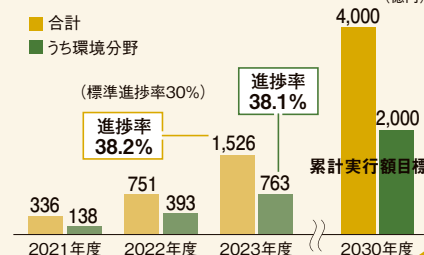
フィデアグループは、東北地方における脱炭素の取り組みの普及・促進等を通じた地域課題の解決や地域活性化、ローカルSDGs実現への貢献などを目的として、環境省東北地方環境事務所と「脱炭素及びローカルSDGsの実現に向けた連携協定」を締結いたしました。2024年2月には、連携協定の一環として「脱炭素経営支援セミナー」を開催し、100社を超える地域事業者の皆さまにご参加いただきました。



サステナブルファイナンスへの取り組み

気候変動への対応を含む持続的な地域環境づくりをフィデアグループのマテリアリティの1つととらえ、地域事業者の脱炭素経営を積極的にご支援しています。グループ投融资方針に基づき地域社会および地域経済の持続的な発展の実現に向け、サステナブルファイナンスに対応しています。サステナブルファイナンスの対象事業は、省エネ・再エネ事業、森林保全事業、少子化に対応する教育事業、医療・福祉事業、地域産業振興に関連した事業、防災・減災事業等としています。このうち、省エネ・再エネ事業、森林保全事業を環境分野としています。

● サステナブルファイナンス 累計実行額 (億円)



地域活動への参加

市街地や公園などの清掃、美化活動に積極的に参加しているほか、各地のまつりに踊り手やボランティアとして参加。地域の皆さまとのコミュニケーションを深めるとともに、賑わい創出に寄与しています。



社会から信頼される ガバナンスの構築

フィデアホールディングスは、サステナビリティ経営の状況を評価・検証する「サステナビリティ委員会」、持続的な企業価値向上に向けた「経営戦略委員会」を設置。社会から信頼されるグループのガバナンスの構築に努めています。

